

立命館經濟學

第十三卷 第三号

昭和三十九年八月

内 容

論 說

- 最近の資本蓄積と低賃金構造(上)戸 木 田 嘉 久 1
現代資本主義と利潤率傾向的低落の法則手 島 正 毅 29
——独占と技術革新——

資 料

- 董輔弼「ことなる拡大再生産の途の下での社会主義的
再生産の比例関係について」松 野 昭 二 90
——マルクス再生産表式の具体化についての再論——

書 評

- 建林正喜「外国貿易と産業循環」杉 本 昭 七 115

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第十二巻・第五・六号

論説

- リカアドオと農業……………井上次郎
- 西独の労働者教育……………平田隆夫
- 経済における分析モデル……………今川正徳
- 『資本論』における科学と哲学……………清水正徳
——梯明秀教授の所説によせて——
- 現段階における農民層分解の特質……………大藪輝雄
- 独占資本主義のもとでの
経済成長の限界……………白杉庄一郎
(遺稿「剰余価値の理論」の中の一節)

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第十三巻・第一・二号

論説

- 自然成長率にかんする覚え書……………建林正喜
- 協同組合とマルクス主義……………井上晴丸
——協同組合発展の歴史的弁証法——
- 経済における国家の問題(二)……………高橋良三
- 発展戦略の再検討……………浜崎正規
——低開発国の発展拠点の問題——
- △広義の経済学△否定論の系譜……………芦田文夫
——ブハーリン・宇野教授の所説をめぐって——
- 広い意味での経済学について(承前)……………木原正雄
——社会主義経済学の生成と発展——

書評

- 足立政男著『丹後機業史』……………堀江保蔵
- 杉原四郎著『マルクス経済学の形成』……………細見英

発行所 立命館大学人文科学研究所